

感染症についてのお知らせ

墨田区保健所 保健予防課 感染症係
電話 03-5608-6191(直通) FAX 03-5608-6507

令和7年
7月号



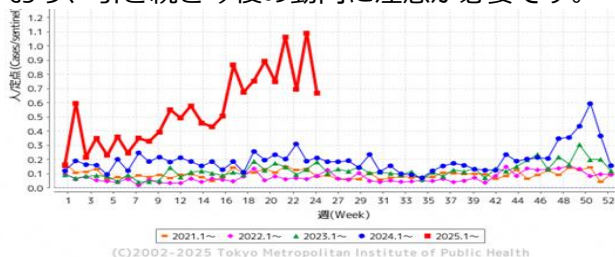
東京都内の感染症流行情報

出典：東京都感染症情報センター「東京都感染症発生動向調査週報」

◆第25週（6月16日～6月22日）の流行情報

水痘(みずぼうそう)に注意！

第25週の都内 264 か所の小児科定点医療機関から報告された定点当たり患者報告数（都内全体）は 0.67 人／週です。前週に注意報基準を超えており、引き続き今後の動向に注意が必要です。



(C)2002-2025 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

◆水痘にかからないためには？

予防には**ワクチンが有効**です。母子手帳などで接種歴を確認してください。

◀定期予防接種スケジュール▶

2014年10月1日から水痘ワクチンは定期予防接種になっています。

対象期間：1～3歳未満で2回の接種

◆水痘と診断されたら？

- ・ 周囲へ感染を広げないために治癒するまでは外出をひかえ、マスクの着用と手洗いを行ってください。
- ・ 学校保健安全法で定められている出席停止期間は、「すべての発しんが痂痂化するまで」です。

百日咳の患者報告数が増加しています！

第25週の患者報告数は278人であり、全数把握疾患となった2018年以降で最多となりました。

咽頭結膜熱（プール熱）について

出典：東京都感染症情報センター

◆どんな病気？

咽頭結膜熱はアデノウイルスによる感染症です。主に夏に小児を中心に流行する感染症です。プールでの感染があることから「**プール熱**」とも呼ばれます。最近の傾向として、冬季にも小流行がみられることがあります。

主な症状は、**39℃前後の発熱、咽頭炎（のどの痛み・発赤など）、結膜炎（目の充血、めやになど）を3主症状**とし、その他リンパ節の腫れ、腹痛、下痢などが生じることがあります。症状は1～2週間でおさまります。頻度は高くありませんが、重症化した場合は肺炎などを合併することがあります。

治療はそれぞれの症状に対する対処療法が中心になります。結膜炎が強い場合は眼科での治療が必要になります。



◆どうやって感染するの？

感染力は非常に強く、患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスによって感染（飛まつ感染）、あるいは、ウイルスが付着した手やタオルなどの患者が触れたものを介して感染します（接触感染）。

◆どうやって予防するの？

アデノウイルスには**アルコールは効きにくい**ため、**石けんと流水でのこまめな手洗い**をしましょう。また、プールや温泉施設を利用する際は、前後にシャワーを必ず浴び、**タオルの共有は避け**ましょう。



◆どんな病気？

- ・百日咳菌による感染症で、特有のけいれん性の**激しい咳発作が特徴的な症状**です。
- ・患者の咳やくしゃみのしぶきに含まれる、分泌物による飛沫感染や接触感染で広がります。
- ・発症すると風邪症状がみられ、激しい咳が2週間、次にけいれん性の連続的な咳が2～3週間、回復までさらに2～3週間、完治までに約2～3ヶ月かかります。
- ・潜伏期間（感染してから発症するまでの期間）は約7～10日で、感染可能期間（周囲に感染させる可能性がある期間）は発症から2～3週間（激しい咳の時期）です。
- ・**乳児の場合、無呼吸等重篤になることがあります、生後6か月未満では死に至る危険の高い病気**です。

◆どれくらい発生しているの？

東京都における百日咳報告数



年代別（2025年1～23週（1/1～6/8））1832件

年齢等	人数	%
0歳	48	2.6
1～6歳	118	6.4
7～12歳（小学生）	810	44.2
13～18歳（中・高生）	432	23.6
19～24歳（大学・専門学校等）	43	2.3
25～64歳	337	18.4
65歳以上	44	2.4

約74%

都内の報告数は、直近で過去4年よりも大きく上回っており、1～18歳が全体の74%、0歳も50例近く報告されています。このような状況から**保育園や学校等で特に注意が必要**です。

◆百日咳にかからないためには？

予防にはワクチンが有効です。百日咳は定期予防接種が行われています。

乳児で重症化しやすいので、**生後2か月に達したら、早めにワクチンを接種**しましょう。

◎軽症でも菌の排出はあるため、予防接種をしていない新生児・乳児がいる場合は、感染に対する注意が必要です。特に乳児がいるご家庭では咳エチケットや手洗いなど基本的な感染対策を心がけましょう。



◆百日咳かもしれないと思ったら？

- ・ **マスクを着用**してください。
- ・ **早めに医療機関を受診**し診断を受けましょう。
周囲に百日咳の方がいた場合は医師に伝えましょう。



◆百日咳と診断されたら？

- ・ 周囲に感染を広げないために、特に**咳の激しい間は外出を控えて**ください。
- ・ **マスクの着用と手洗いを徹底**してください。
- ・ 学校保健安全法で定められている出席停止期間は、「特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗生物質製剤による治療が終了するまで」です。